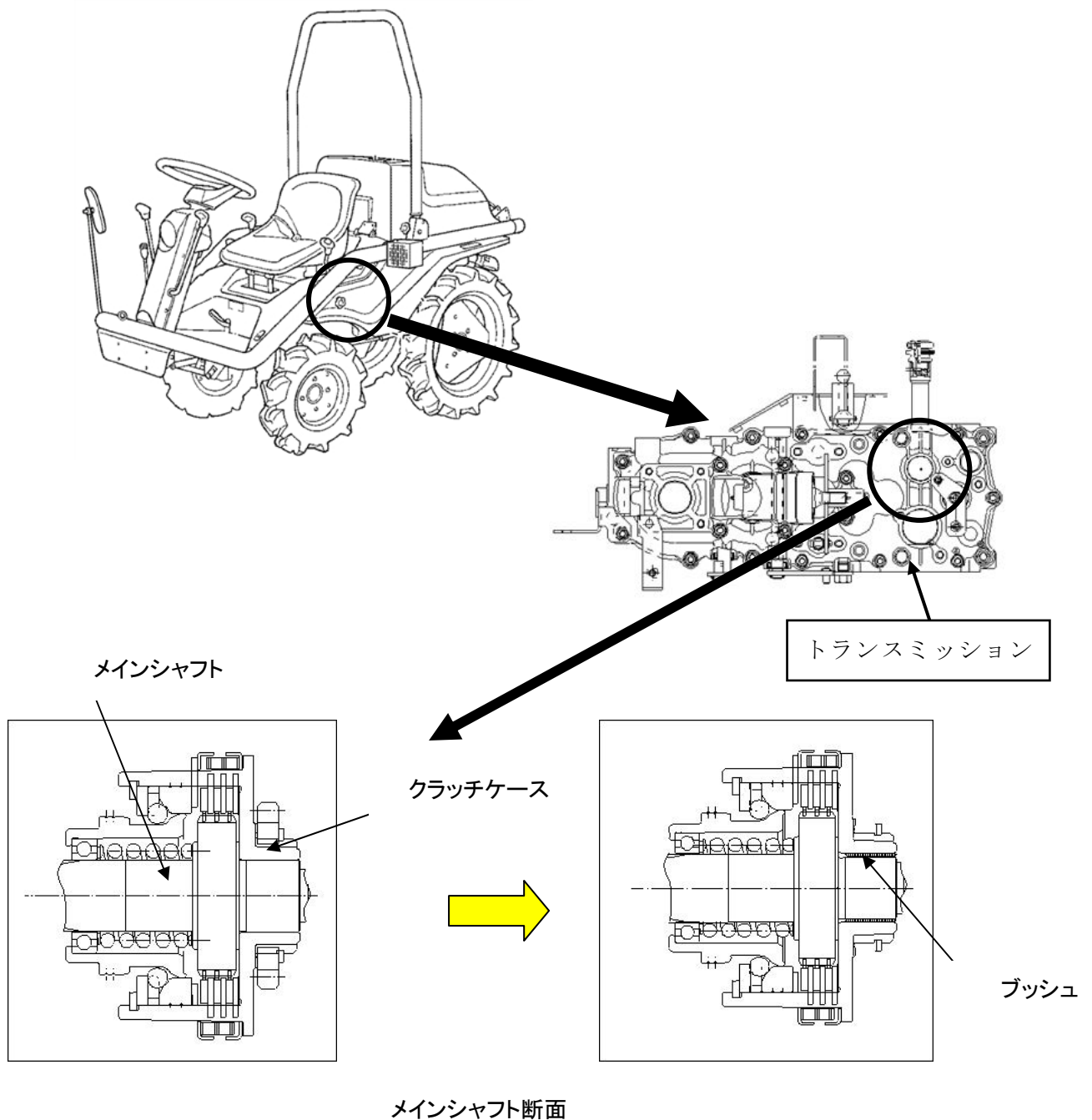


# 改善箇所説明図



## 不具合発生箇所

トランスミッションの前後進切り替え機構において、クラッチケース軸受け部の構造が不適切なため、潤滑不良により当該軸受け部が焼付き、メインシャフトとクラッチケースが固着する場合があります。そのため、前後進レバーを中立に操作しても車両が後退するおそれがある。

## 改善内容

全車両、クラッチケース軸受け部の構造を変更した対策品のトランスミッションに交換する。

は交換部品を示す。

## 識別

型式銘板の横に黄色の識別マークを貼付する。